

第2次氷川町総合振興計画 前期基本計画 振り返り

教育の未来：地域で氷川っ子を育み、子どもたちの声が響き合うまち

	1. 安心して育てることができる子育て環境の充実	2. 子どもの心と体を鍛える教育環境の充実	3. 地域づくりと一体となった学びの環境と機会づくり																																				
	福祉課、町民課、学校教育課、生涯学習課	学校教育課、生涯学習課	生涯学習課、企画財政課、地域振興課																																				
成果が上がったこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>【子育て環境の整備】子育て世代包括支援センターが設置され、子育てに関する相談をワンストップで受けられるようになった。</li> <li>【子育て支援の充実】家庭教育支援事業において、家庭教育や子育てについての情報提供や保護者同士のつながりをつくる講座を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【学校の自主的な取組】各学校のCSが自立的・主体的に取り組む「CSの日」として発展させた事業を実施。各学校のCSの取組は拡大CSの取組と併せて充実してきている。</li> <li>【英検受験率アップ】中学校に配置するALTによって、英語検定受験者数も合格率も増加。</li> <li>【委員の資質向上】氷川町コミュニティ・スクール連携協議会や5校合同学校運営協議会研修の充実を図り、各CS委員の資質を向上。</li> <li>【訓練の実施】地域と連携した防災教育・防災訓練を実施。</li> <li>【ボランティアとの連携】地域学校協働本部事業において、地域のボランティア（老人会、婦人会等）と連携し、支援体制が充実している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【コロナ禍での新たな取組】新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、生涯学習講座の野外活動やオンライン講座など新たな取り組みを実施。</li> <li>【ふるさと学習の取組推進】氷川町の自然・文化・歴史等を教材に、地域のボランティアと連携し実施。（地域学校協働本部事業）</li> <li>【地区づくり活動への参加支援】多くの地区で子どもの参加ができる活動を展開されており、世代間交流の事業等が継続されてきた。</li> </ul>																																				
	<p>子育て世代包括支援センター設置率【%】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>設置</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	—	—	—	設置	100.0	100.0	<p>CSの更なる充実、会議・活動等推進事業の継続</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> <td>実施</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	実施	実施	実施	実施	実施	実施	<p>ふるさと学習への参加者数【人】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>30</td> <td>161</td> <td>136</td> <td>107</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	—	30	161	136	107	100
	H29	H30	R1	R2	R3	目標																																	
	—	—	—	設置	100.0	100.0																																	
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																		
実施	実施	実施	実施	実施	実施																																		
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																		
—	30	161	136	107	100																																		
<p>家庭教育学級参加者数（延べ人数）【人】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50</td> <td>225</td> <td>591</td> <td>0</td> <td>—</td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	50	225	591	0	—	300	<p>英語検定受験率【%】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>26.2</td> <td>38.2</td> <td>35.8</td> <td>51.3</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	—	26.2	38.2	35.8	51.3	—	<p>社会教育団体による自主的な会議の平均回数【回】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	2	1	2	2	2	3	
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																		
50	225	591	0	—	300																																		
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																		
—	26.2	38.2	35.8	51.3	—																																		
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																		
2	1	2	2	2	3																																		
課題が顕著なこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>【利用者の減少】新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、支援センターの利用者が大幅に減少。より多くの町民に知ってもらい、活用してもらうための情報提供が必要である。</li> <li>【社会問題への対応】子どもの貧困への対応として、令和6年4月を目標に子ども家庭センター設置へ向けて検討していくことが必要である。</li> <li>【コロナ禍での事業推進】コロナ禍における事業展開の方法の検討が必要。</li> <li>【コロナ禍での事業推進】新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、PTA活動自体が縮小、保護者同士の集まる機会が減少。学校での行事等を活用しながら効率的な指導、情報提供ができるように工夫が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【コロナによる事業中止】新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、主な事業中止。</li> <li>【コロナ禍での事業推進】宿泊通学体験事業等、新型コロナウイルス感染症の影響が大きい事業に関して、事業内容の見直しも検討が必要となっている。</li> <li>【人員強化】特別な支援を必要とする児童生徒の特性も幅広くなっているため、それぞれに応じた支援員の配置（増員）が必要である。</li> <li>【防災意識低下への対応】防災意識の向上を図るために、年間指導計画に沿った防災教育を確実に実践するとともに、地域と連携した防災教育・防災訓練をさらに充実させていく必要がある。</li> <li>【地域との連携強化】地域コーディネーターの育成や人材の発掘、地域の団体や事業所との連携協力体制の構築が課題。</li> <li>【コロナによる利用者の減少】新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、児童の図書館利用が伸びない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【コロナ禍での事業推進】新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各地区が集っての事業実施が困難な状況であるため、コロナ禍の中、活動機会を増加させることが課題となる。</li> <li>【参加者の減少】ジュニアリーダーも減少傾向。</li> <li>【コロナ禍での事業推進】連携協定を結んでいる大学などと協力し、オンラインなどコロナ禍でも可能な町独自の学習支援事業の検討が必要である。</li> <li>【コロナ禍での事業推進】地域づくり活動が縮小。各地区に工夫を凝らした事業の計画やコロナ禍での交流方法の検討が必要。</li> <li>【コロナ禍での事業推進】生涯学習講座は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、講座実施数は減少傾向。コロナ禍においても実施できる講座内容の検討、講座のニーズ把握や講師の選定が課題である。</li> <li>【会員の高齢化】文化協会活動の会員の高齢化、団体の数も減少。</li> <li>【周知不足】人材育成基金制度周知の不足により申請件数が少ない。</li> </ul>																																				
	<p>子育て支援センター利用者数【人】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,350</td> <td>1,370</td> <td>1,756</td> <td>857</td> <td>338</td> <td>1,600</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	1,350	1,370	1,756	857	338	1,600	<p>八火図書館一般図書の1年間の貸し出し数【冊】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19,736</td> <td>22,449</td> <td>19,320</td> <td>12,592</td> <td>14,741</td> <td>20,000</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	19,736	22,449	19,320	12,592	14,741	20,000	<p>次年度ジュニアリーダー参加者数【人】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	18	3	4	5	6	20
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																		
1,350	1,370	1,756	857	338	1,600																																		
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																		
19,736	22,449	19,320	12,592	14,741	20,000																																		
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																		
18	3	4	5	6	20																																		
	<p>町PTA主催事業数【回】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	7	7	4	5	6	8	<p>八火図書館本まつりへの参加人数【人】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>170</td> <td>162</td> <td>151</td> <td>中止</td> <td>中止</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	170	162	151	中止	中止	200	<p>生涯学習講座受講者数【人】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>64</td> <td>83</td> <td>99</td> <td>31</td> <td>47</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R1	R2	R3	目標	64	83	99	31	47	100
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																		
7	7	4	5	6	8																																		
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																		
170	162	151	中止	中止	200																																		
H29	H30	R1	R2	R3	目標																																		
64	83	99	31	47	100																																		

《施策の体系ごとの成果と課題》（赤文字：担当課、オレンジ文字：成果、青文字：課題）

方向性	施策の体系	担当課	成果	課題
1. 安心して育てることができる子育て環境の充実	①身近な地域で安心して子育てができる環境づくり 地域での子育てを支援するための多様な保育ニーズへの対応や医療支援などを進めます。	福祉課 (町民課) (学校教育課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子育て世代包括支援センターが設置され、各種関係機関との連携も図られ、子育てに関する相談をワンストップで受けられるようになった。</li> <li>● 放課後児童クラブや病児保育等、仕事と子育てを両立される町民の支えとなっている。</li> <li>● 要保護世帯への支援を充実させる中で、令和6年4月を目標に子ども家庭センター設置へ向けての課題が見えてきている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ワンストップ窓口となっている子育て世代包括支援センターをより多くの町民に知ってもらい、活用してもらうための情報提供が必要である。</li> <li>● 子どもの貧困は社会問題となっていることから、給食費の補助やヤングケアラー家庭へのサービスの提供等、具体的な支援を町民の状況を把握しながら、子ども家庭センター設置へ向けて検討していく必要がある。</li> </ul>
	②地域で子育てを支えるための組織・ネットワーク・人材づくりと活動支援 地域での子育て支援活動の充実や各種グループの連携・交流促進を支援し、そのための拠点機能の強化を図ります。	福祉課	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者との世代間交流について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年度から中止している。</li> <li>● コロナ禍において、支援センター事業を実施しているが、利用者が大幅に減少している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子育ての悩みをもったままどうしていいかわからない保護者の早期発見。</li> <li>● コロナ禍における事業展開の方法。子育て支援センターのリモート相談の実施などの検討が必要。</li> <li>● 地区で子育てを支える人材の育成の進め方について、効果的な方法の検証が必要。</li> </ul>
	③子育ての基本となる家庭教育力向上のための保護者との連携の強化 家庭での子育てを支援するための相談・研修機能の充実を図ります。	生涯学習課 (福祉課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● P T A活動支援事業：コロナ禍の中において活動自体が縮小されている。PTA連絡協議会が開催している教育講演会については毎年その年の課題をテーマに講演しているので家庭・地域・学校の教育力を高める機会にもなっている。</li> <li>● 家庭教育支援事業：くまもと「親の学び」プログラムを活用し、家庭教育や子育てについての情報提供や保護者同士のつながりをつくる講座を実施した。小学校の就学児健診等で保護者に対し生活リズムについてのプログラムを指導している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● P T A活動支援事業：コロナ禍により各学校の P T A 役員が集まることが制限されているため各学校同士の情報共有ができない状況となっている。</li> <li>● 家庭教育支援事業：新型コロナウイルス感染症拡大防止により、保護者同士の集まる機会が減少してきている。学校での行事等を活用しながら効率的な指導、情報提供ができるように工夫が必要である。</li> </ul>
2. 子どもの心と体を鍛える教育環境の充実	①子どもの心と体を鍛える特色ある学校教育の充実 氷川の子どもたちの教育を住民みんなで考え、学校を中心とする教育活動の充実と住民の参加を促進していきます。	学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> <li>● これまで14回実施された「次世代育成推進フォーラム in 氷川町」における学びを生かして、各学校のCSが自立的・主体的に取り組む「CSの日」として発展させた事業とすることができた。また、「CSの日」の実施に係る経費の措置、活動内容に関する指導・助言を行い充実も図った。</li> <li>● 中学校に配置するALTについては、各学校の英語担当教員と協力し、生徒の英語力向上につながり、英語検定受検者数及び合格率も増加した。</li> <li>● 宿泊通学体験事業：コロナ禍で開催が中止されたが、子ども会やジュニアリーダーとのかかわりの中での事業を展開し、クリスマスケーキ作りや門松づくりなどの事業を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各学校のCS活動、並びに中学校区で取り組む「CSの日」をさらに充実、発展させるために、指導・助言を行うとともに、地域学校協働本部との連携を深める。</li> <li>● 生徒の英語力向上のためにALT派遣業者を選定し、質の高い人材の確保に努める。また、英検受検者数並びに合格率向上のために受検費用の負担軽減を図る必要がある。</li> <li>● 宿泊通学体験事業：自然の中での共同宿泊や炊飯、風呂焚きなど貴重な体験の場となっており、好評な意見が多いが、新型コロナウイルス感染症の影響が大きいことから、事業内容の見直しも検討が必要となっている。体験事業を通じジュニアリーダーとの関わりにつなげ、ジュニアリーダーの参加者増加も目指したい。</li> <li>● 特別支援教育支援員の資質向上を図るための研修を実施し。併せて、自閉症・情緒障がい学級への入級者数が増加傾向にあり、また特別な支援を必要とする児童生徒の特性も幅広くなっているため、それぞれに応じた支援員の配置(増員)が必要である。</li> </ul>
		生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自然の中での共同宿泊や炊飯、風呂焚きなど体験型の実践的な事業となっており、体験後に家事を手伝うようになったなど、好評な意見が多い。</li> <li>● 新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度から令和4年度まで主な事業中止となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 宿泊形態の事業であり、宿泊場所も広くないため、感染リスクが高い。事業としては、貴重な体験の場であり、好評な意見も多いため、コロナ禍における事業内容を検討し、継続することが課題となる。(生涯学習課)</li> </ul>
	②学校教育に関わる地域の参加促進	学校教育課 (生涯学習課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小中学校における体験活動：地域学校協働本部との一体的な取り組みの中で、子どもの豊かな体験活動を実施した。また、キャリア教育とリンクさせ、子ど</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【小中学校における体験活動】学校における学びを深めるという視点と併せて、キャリア教育の点からも重要な教育活動である。町内の3つの学校が取</li> </ul>



	<p>地域の人たちが学校と連携して子どもの教育に関わるための機会や仕組みの充実を図ります。</p>		<p>もの社会的・職業的自立に向けた資質・能力の育成が図られるよう指導・助言した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 小・中学校コミュニティ・スクール推進事業：CSディレクターを中心に、<b>氷川町コミュニティ・スクール連携協議会</b>や<b>5校合同学校運営協議会研修の充実を図り、各CS委員の資質を向上</b>させ、自律的・主体的な取組を推進した。</li> <li>● 子どもたちへの防災教育の推進：各学校における防災教育推進のために、校長会議等において各校の推進状況を把握するとともに、「氷川町（組合）小・中学校防災教育年間計画」に沿った取組を確実に実践していくように指導する。また、<b>地域と連携した防災教育・防災訓練</b>については、総務課と連携して取組を進めた。</li> <li>● 地域学校協働本部事業：学校だけではなく、<b>地域のボランティア</b>（特に老人会、婦人会等）との<b>連携</b>、地域人材の発掘に努め、活動の推進と発展につながった。</li> </ul>	<p>り組んだ「起業体験推進事業」における学びを生かしながら、より豊かな体験活動を通して子どもに「生きる力」を身に付けさせていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 【小・中学校コミュニティ・スクール推進事業】<b>各学校のCSの取組は充実</b>してきている。今後は氷川町コミュニティ・スクール連携協議会や5校合同学校運営協議会研修の場を活用して、先進的な取組を共有しながら、<b>各CSの自律的・主体的な取組を支援</b>していく必要がある。</li> <li>● 【子どもたちへの防災教育の推進】継続的に実践していくことが大切である。<b>防災意識の低下を避けるためにも、年間指導計画に沿った防災教育を確実に実践</b>するとともに、<b>地域と連携した防災教育・防災訓練</b>をさらに充実させていく必要がある。</li> <li>● 【地域学校協働本部事業】今後は、<b>地域コーディネーターの育成や人材の発掘、地域の団体や事業所との連携協力体制の構築</b>が課題。</li> </ul>
	<p>③<b>地域に密着した教育施設の充実と各種教育機関の間での交流・連携</b></p> <p>特色のある教育活動と地域との連携による教育への住民参加を促進するための施設、環境の充実を図ります。</p>	<p>学校教育課</p> <p>生涯学習課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ICT教育推進事業：<b>ICT機器を授業に効果的に活用</b>することが出来、児童・生徒の学力向上につながった。</li> <li>● 八火図書館管理（サービスシステム）充実事業：リサイクルフェアや館内のレイアウト、配架などを工夫しました来館したくなる図書館を目指した。</li> <li>● 八火図書館振興（イベント）充実業務：図書館利用の促進・読書意欲の高揚を目指し、イベント開催・広報活動を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ICT教育推進事業：ICT機器等の計画的更新（経費）が必要になる。</li> <li>● 八火図書館管理（サービスシステム）充実事業：小学校の学年閉鎖等の休校が続けば<b>児童の利用が伸びない</b>。</li> <li>● 八火図書館振興（イベント）充実業務：インターネットの普及により活字離れが進んでいる。</li> </ul>
<p>3. <b>地域づくりと一体となった学びの環境と機会づくり</b></p>	<p>①<b>地域・学校・家庭が一体となって、幼児から青少年まで一貫して子どもの健全育成を見守る地域の環境と体制づくり</b></p> <p>子ども会活動をはじめ、身近な地域で子どもの健全育成を見守り、推進する活動の充実を支援していきます。</p>	<p>生涯学習課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子ども会活動は、年齢の異なる子どもたちの集まりであり、学校・家庭とは違った人間関係の中で、子どもたちによる自主的な活動を通じて、社会性・自主性・協調性などを身につける場となっている。また、老人会や婦人会、中高生のジュニアリーダーの支援を受け、事業を行う機会もあり、地域住民との交流も深めることができている。</li> <li>● 青少年育成町民会議活動支援事業：児童生徒の登下校中の事故事件の防止から防犯パトロールを重点として実施している。地域の方からも危険箇所など情報提供も寄せられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コロナ禍において、<b>各地区が集っての事業実施が困難な状況</b>にある。活動機会の減少に伴い、<b>ジュニアリーダーも減少傾向</b>にあるため、コロナ禍の中、活動機会を増加させることが課題となる。</li> <li>● 【青少年育成町民会議活動支援事業】イベント中止により<b>街頭指導は中止</b>となっている。PTAによるパトロールに協力をいただいている。</li> </ul>
	<p>②<b>地域の特色ある自然環境、まちづくりを活かした体験・交流機会の創出</b></p> <p>地域の自然環境を活かした体験・交流活動や他の町との交流、さらにまちづくり活動を通じた体験と交流機会の充実を進めます。</p>	<p>生涯学習課</p> <p>企画財政課</p> <p>地域振興課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 両町の環境や文化の違いに触れる貴重な機会であり、個々の視野を広め、相互の友好関係の発展に寄与する事業となっている。新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度から令和4年度まで事業中止となっている。</li> <li>● 新型コロナウイルス流行以前においては、学校外の様々な活動を通じて子どもたちの多方面での学習支援に効果があった。</li> <li>● 地区づくり活動への参加支援：多くの地区で子どもの参加ができる活動を展開されており、世代間交流の事業等が継続されてきた。しかし、ここ2年間は<b>新型コロナウイルス感染症のため、活動が縮小</b>し交流の機会が得られなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 遠隔地への移動、ホームステイなど感染リスクがあり、<b>コロナ禍において開催が困難な状況</b>にある。相互の友好関係の発展に寄与する事業であり、継続することが望ましいため、<b>感染対策など、今後、どのように事業を実施していくかが課題</b>となる。</li> <li>● これまで全国大学生政策アカデミー実行委員会が主催するインターン事業の後援を行ってきたが、新型コロナウイルスの影響により実施できていない。また、来年度以降開催されない予定である。<b>連携協定を結んでいる大学などと協力し、オンラインなどコロナ禍でも可能な町独自の学習支援事業の検討が必要</b>である。</li> <li>● 地区づくり活動への参加支援：毎年同様な事業が実施されてきているため、<b>各地区に工夫を凝らした事業の計画やコロナ禍での交流方法の検討が必要</b>。</li> </ul>
	<p>③<b>身近な地域で生涯を通じて学習し、その成果を地域</b></p>	<p>生涯学習課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 社会教育団体の育成：生涯学習事業について、意見を述べていただいている。</li> <li>● 文化協会活動（文化祭開催）支援業務：コロナ禍ではあったが、事業遂行のた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 社会教育団体の育成：地域教育協議会と社会教育委員会のそれぞれを明確化する。</li> </ul>

<p><b>で活かせる仕組みや機会の充実</b></p> <p>生涯を通じて学習する機会を得て、さらに学習成果の発信や地域社会への貢献を通じてのふれあいと生きがいづくりを支援していきます。</p>			<p>め会議並びに協議を重ね日程等を延期したりしたが開催できなかった。しかしながら<b>会員の熱意が感じられた</b>ので今後事業が実施できればと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 生涯学習講座実施：新型コロナウイルス感染症の影響で、<b>講座実施数は減少傾向</b>にあるが、<b>野外活動やオンライン講座</b>など、コロナ禍における新たな取り組みを行い、学習機会の確保を図った。</li> <li>●</li> <li>● 人材育成助成金交付事業：平成 30 年度までは申請が行われており、次代のまちづくりを担う人材育成は行われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 文化協会活動（文化祭開催）支援業務：<b>会員の高齢化等</b>が課題であり、<b>団体の数も減少</b>している。</li> <li>● 生涯学習講座実施：<b>コロナ禍においても実施できる講座内容の検討、講座のニーズ把握や講師の選定</b>が課題である。</li> <li>● 人材育成助成基金交付事業：平成 30 年度までは申請が行われているが、<b>制度周知の不足により申請件数が少ない</b>。また、その後はコロナの影響により研修等も自粛されており、特に海外への派遣研修は皆無の状況で、助成内容の検討も必要。</li> </ul>
--	--	--	---	---